

(7) ティーチング・アシスタント (TA) の活用

工学部の授業科目の教育補助として、優秀な大学院自然科学教育部(研究科)博士前期課程在学者を、ティーチング・アシスタント(TA)として採用した。令和2年度の採用状況は次のとおりである。

表 3-1 令和2年度 TA 採用状況

区分	利用者数	総時間数	時 給	予算配分額
工学部	413名	14,845時間	1,090円	16,181千円

(8) 博士課程奨学制度) リサーチ・アシスタント (RA) の活用

工学部、大学院自然科学教育部(研究科)(関連部局含む)が行う研究プロジェクトに、優秀な大学院自然科学教育部(研究科)博士後期課程在学者をリサーチ・アシスタント(RA)として採用した。また、雇用の対価として年間授業料半額相当の経済的支援を行うこととなっており、平成 21 年 4 月 1 日より実施され、平成 21 年度入学者から適用となっている。令和2年度の採用状況は、次のとおりである。

表 3-2 令和2年度 RA 採用状況

区分	利用者数	総時間数	時 給	予算配分額
パルスパワー科学研究所	4 名	415時間	1,220円	506千円